

オープンプラットフォーム会議 vol.6

コロナ後の図書館は、学びと成長の場 としてどのように変化するか？

2.12 Fri 19:00-20:30

オンライン会場 | Zoom ウェビナー

※ Peatix(注1)よりお申込ください。

※ 後日、お申し込みいただいた連絡先に配信 URL をお知らせします。

要申込

参加費無料



おせっかい社かける
共同創業 COO

渡邊 賢太郎



株式会社 Curio School
代表取締役

西山 恵太



一般社団法人 B-biz LINK
地域経済活性化アドバイザー

池田 睦



株式会社オープン・エー
代表取締役

馬場 正尊

渡邊 賢太郎

大分県立別府鶴見丘高校、立命館アジア太平洋大学卒業後、三菱UFJモルガン・スタンレー証券退職後、2年間47カ国の世界一周旅へ、8年前より人間の創造性の最大化をテーマに、新たな社会システム構築を目指してこれまでに120社以上のスタートアップ創業支援、および投資業務を行う。共著『16才のインベスターズ』など。

西山 恵太

大学にてプロダクトデザインを専攻後、大学院に進学。2011年に野村総合研究所に入社後は経営コンサルタントとして新規事業開発支援や官公庁の政策調査・実行支援プロジェクトを手掛ける。2015年に創造力を育む教育プログラムを開発する株式会社 Curio School を立ち上げた。

申込・問い合わせ先：別府市教育部社会教育課

TEL：0977-21-1587 FAX：0977-22-5100 MAIL：lle-be@city.beppu.lg.jp

主催：別府市教育委員会 運営協力：株式会社 OpenA

新型コロナウイルス感染症は、教育の現場にも大きな変化をもたらしました。学習機会の確保が課題となり、オンライン学習やリモートゼミなどの学習環境の変化はもちろん、これからの教育のあり方や人々の価値観、ひいては社会のシステムそのものが根本から変わるのかもしれませんが。

今までの教育は、「社会に適応するための知識や能力を身につけ、磨く」ためでしたが、アフターコロナの新しい時代においては、「自分が欲する情報に的確にアクセスし、自ら環境を作り出し、編集できる力を蓄えるための学び」へ。

子どもたちだけでなく大人にとっても、学びと成長を支える場である「図書館」の役割は、重要といえます。コロナを経て、これからの不確実な社会で生きていくために、私たちは何を学びたいのか、子どもたちに何をどう学び、どんな力を身につけてほしいのか、図書館ではどんな新しい学びのカタチが提供できるのか・・・。

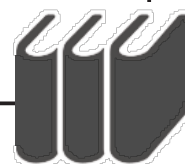
「誰一人として取り残さない」社会を実現していくためにも、様々な人々に必要な学びの場としての図書館の役割や可能性を共に考えます。

プログラム

1	趣旨説明	オープンプラットフォーム会議とは・テーマ説明
---	------	------------------------

2	プレゼンテーション 各 15分×2組(30分)	渡邊 賢太郎 (おせっかい社かける)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動紹介 ・ 学びにおける問題と解決アイデア
		西山 恵太 (Curio School)	

3	ディスカッション (50分)	会場からの意見・質問タイム	<ul style="list-style-type: none"> ・ ウェビナーから挙手頂き、発言(指名) ・ その発言を受けて、ディスカッション
		オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・ プレゼンテーションの感想など
		インタビュータイム	<ul style="list-style-type: none"> ・ オンラインインタビュー「コロナで学校はどう変わった？」
		パネリスト	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 渡邊 賢太郎 ・ 西山 恵太 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 池田 睦 ・ 馬場 正尊



注1 Peatix とはオンラインでイベント参加の申し込みを行うことができるサービスです。パソコン・スマートフォン・タブレットのいずれでも、Peatix の画面を開くことができます。
右記 QR コードから本事業のページにアクセスできます。パソコンをご利用の方は、Peatix サイトからお申し込みください。

Peatix リンク

